

○公立図書館について



質問)

「長野市図書館基本計画」には「本館と分室とのネットワーク化は、市民の要望の多い課題です。利用の多い分室と本館から離れた分室などを選定し、選定した分室と本館との間に、オンライン化による図書館システムにより、本館とのネットワークの構築を検討します。これにより、ネットワーク化した分室で、本館所蔵等の本の受け取りや返却ができるようになります。」とあります。令和2年のまちづくりアンケートでも、図書館を利用しやすくするために必要と多くの方が答えています。

本館と分室のネットワーク化について検討の状況は？



答弁)

ランニングコストが多額になることから実現には至っていない。来年度、長野県を主体に県内市町村が共同で導入する電子図書館に参画する。この電子図書館の機能が充実していくことで市民の利便性がより高められるのではないかと。

答弁を受けて

本館と分室(市立公民館にある)のネットワーク化が実現すれば、今よりずっと多くの市民が図書館サービスを利用できるようになります。検討を進めるよう要望しました。

市民の暮らしにとって図書館はとても大切な存在です。読書を楽しみ、暮らしに必要な情報を得ることはもちろん、県内でも塩尻市、飯田市、伊那市、松本市、須坂市、小布施町などでは、市民一人ひとりの学びや活動が生まれ、つながる場を生み出す図書館を目指した取り組みが行われています。

公立図書館は学校図書館を支える役割も担っています。子どもたちが本を通じて新しい世界と出会い、情報を読み解く力を得て、よりよい人生を歩むためには、公立図書館にどんな機能と役割を持たせるかが大事な鍵となります。図書館基本計画に目指す図書館像を描いて、取り組みを進めてほしいと思います。

小林ふみ子のまちづくりクラブのホームページで全ての報告をご覧ください。

・アドレスはこちら→ <https://seikatsushanet.com> ・QRコードはこちら →



裏面には、「体育館利用の未来を考える市民と行政の意見交換会」のご案内と、「体育館の利用についてのご意見募集」のお知らせがあります。